



災害廃棄物仮置場のレイアウト作成ツール (Kari-hai) の開発

国立環境研究所 ○森嶋 順子、多島 良

発災後、災害廃棄物を円滑に処理するためには、災害廃棄物仮置場の事前準備が欠かせない。そのために仮置場の配置計画（レイアウト）を平時から検討しておくことが重要である。Kari-haiは、災害廃棄物処理を行う自治体の職員が、必要最小限の情報を入力することで、仮置場のレイアウトを容易に作成・出力できるツールである。

災害廃棄物仮置場とは

災害廃棄物仮置場は、災害廃棄物を分別、保管、処理するために一時的に集積する場所であり、迅速な撤去、処理処分を行うために設置される。

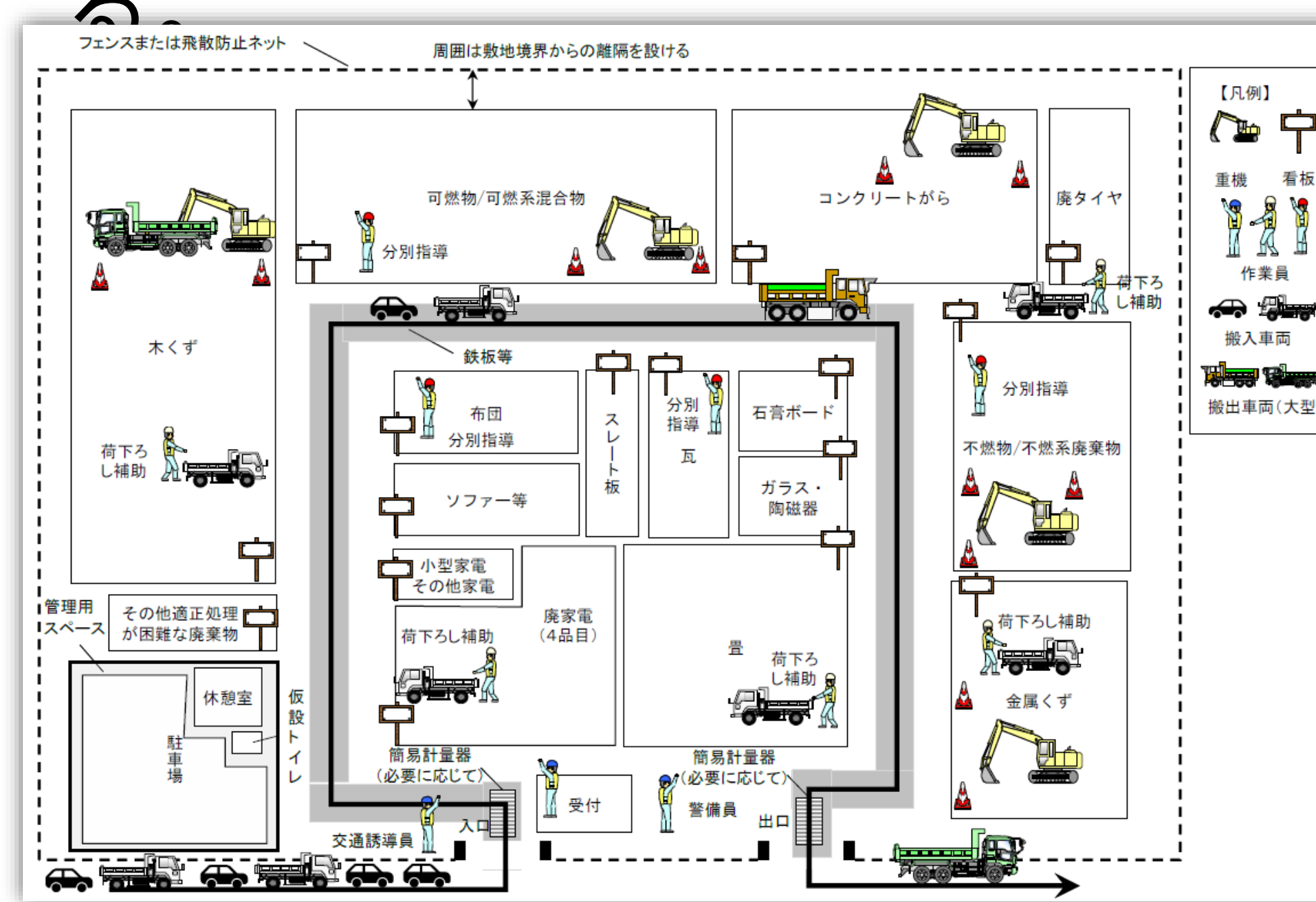


令和2年7月豪雨時の災害廃棄物仮置場

(出典：災害廃棄物対策フォトチャンネル (環境省) 令和2年7月豪雨)

災害廃棄物仮置場のレイアウトの重要性

仮置場のレイアウトは、仮置場の出入口の位置、運搬車両等の場内動線、災害廃棄物の種類ごとの配置場所を含む。適切なレイアウトを計画することは、仮置場での分別や災害廃棄物のスムーズな搬入出につながり、処理期間の短縮などにつながる。



一次仮置場の配置計画 (レイアウト) 例

(出典：災害廃棄物対策指針 技術資料18-3)

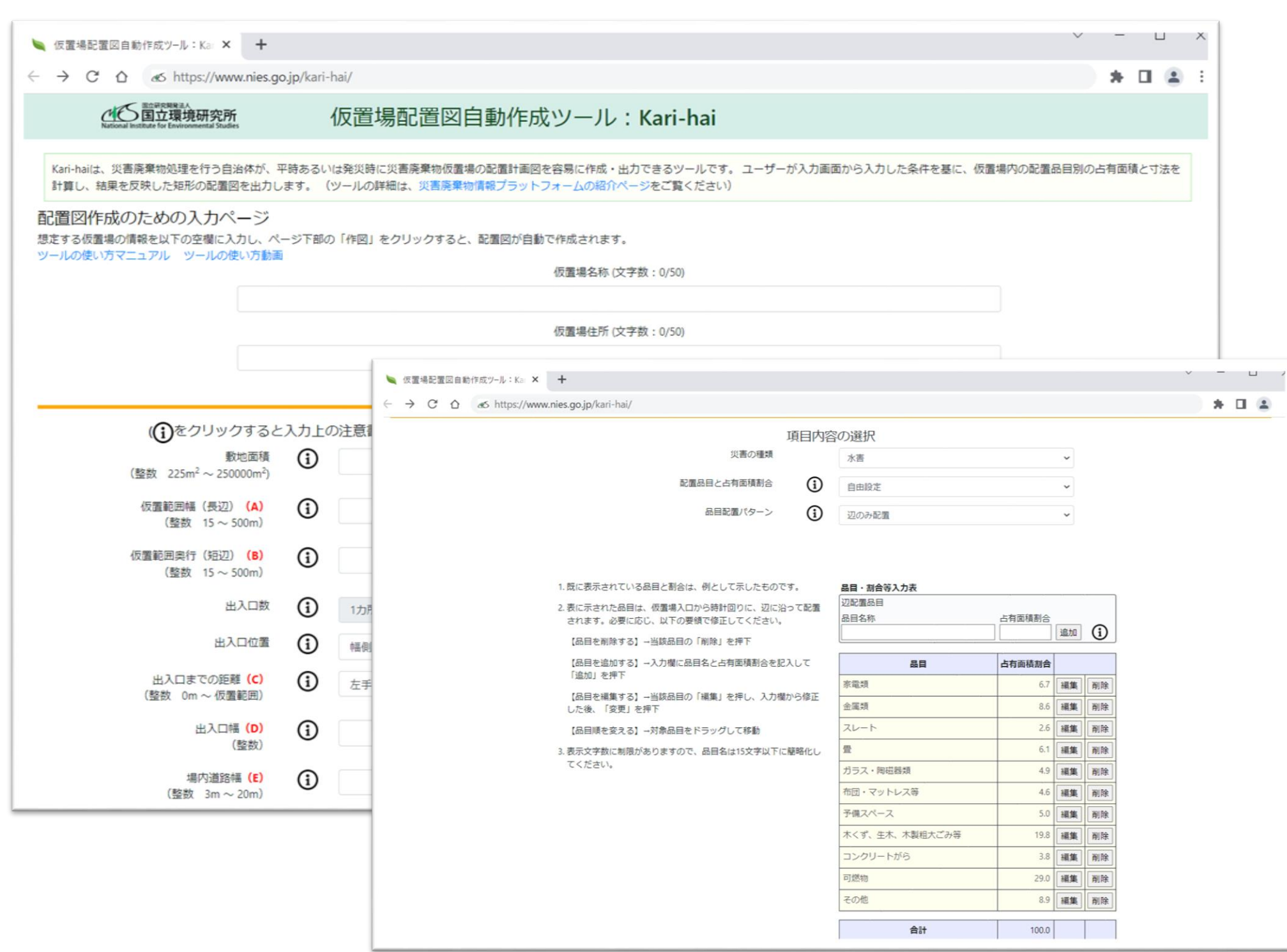


仮置場に品目別に配置されている災害廃棄物

(出典：災害廃棄物対策フォトチャンネル (環境省) 令和2年7月豪雨)

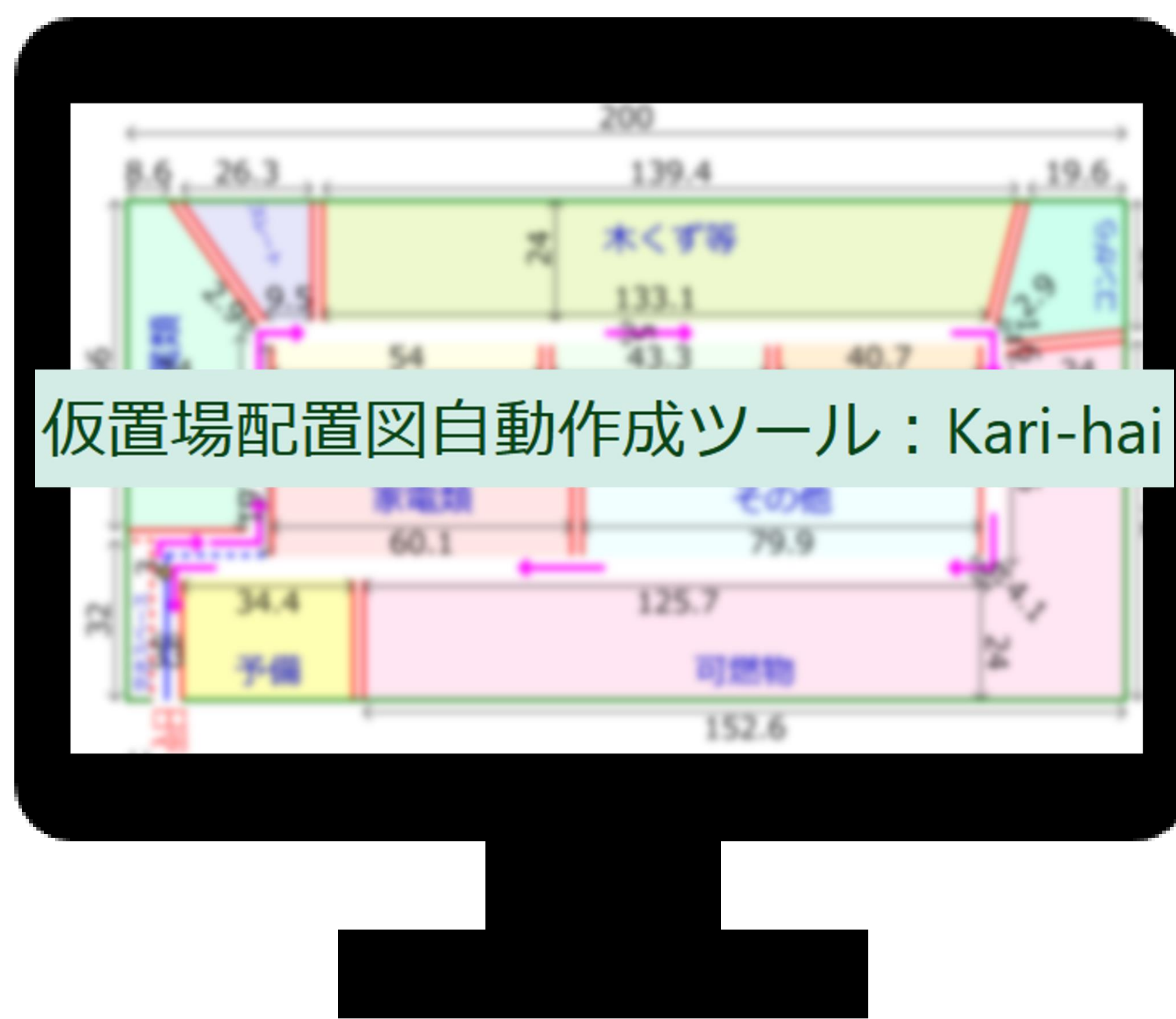
Kari-haiの仕組み

インプット

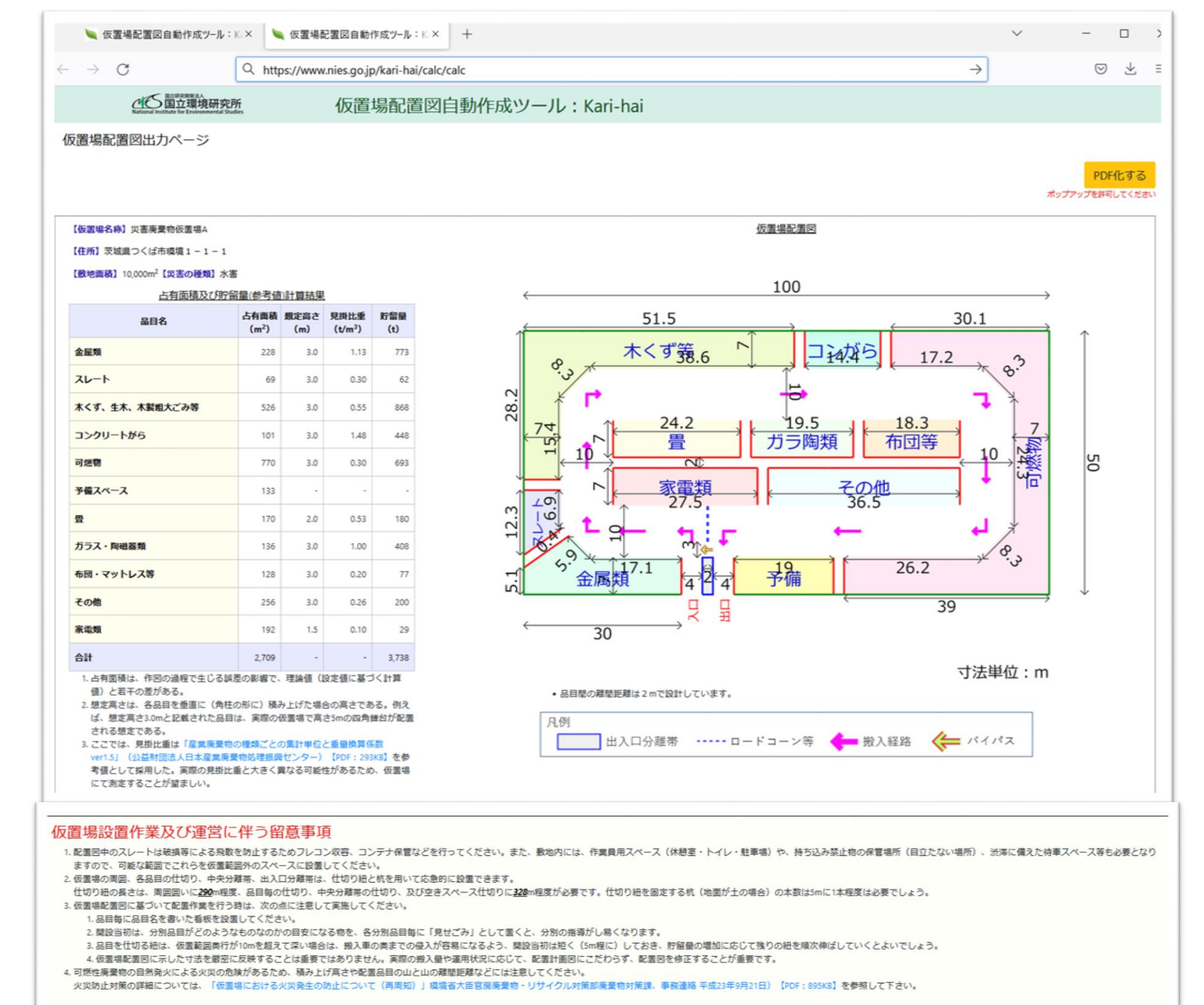


1. Webブラウザの入力画面で、想定する仮置場の情報を入力する。
仮置場の敷地面積や出入口の幅、想定する災害の種類 (地震・水害) 等の項目がある。

アウトプット



<https://www.nies.go.jp/kari-hai/entry>



3. 占有面積の計算結果と仮置場配置図、設置作業における留意事項をWebブラウザに表示する。
PDF形式で出力し、平時・災害時の様々な場面で活用できる。

Kari-haiの活用方法の例

仮置場管理をテーマにした研修会を開催したいけど、どのような資料を用意したら良いかわからない！

→実際の仮置場候補地の情報 (寸法など) を用いて、Kari-haiでレイアウト案を作成。これをたたき台にして、レイアウトの改善点、仮置場内の人員・重機の配置、仮置場開設に必要な準備 (備品等) を議論する研修会を実施することで、手軽な準備で効果的な研修会を実施できる。



仮置場候補地のイメージ